

小牧市まち・ひと・しごと創生総合戦略 骨子(案)

小牧市
平成27年

論点：住み続けたい「まち」とは？

■現状分析・課題整理

- ・産業が活発であり、昼間人口は流入超過
- ・近隣人口増加市町に比べて生産年齢人口（特に若年層）の社会増加が不十分
- ・結婚・出産・育児などのライフステージに適した居住環境の不足
- ・若者や子育て世代が集うことのできるシンボリックな場所などの不足

基本目標：活気あふれる持続可能なまちの創出

まち

■基本的方向(案)

- ・より多くの市民が便利で快適に暮らせる居住空間を確保します。
- ・都市機能の誘導による都市のコンパクト化と、交通ネットワークの整備等により、経済・生活圏を形成します。
- ・多様なライフステージに対応した、市民が安心して暮らせる環境を整備します。

■想定される具体的な施策(案)

(1) 快適な居住環境の創出

- ①コンパクトシティの形成によるまちづくりの推進
- ②持続可能な公共交通の構築
- ③ライフステージに応じた居住環境の提供

(2) 都市の活力と暮らしの安心の創造

- ①子育て家庭が交流し、支え合える場の創出
- ②健康づくりへの取組み支援
- ③在宅医療・介護、見守り体制の構築
- ④支え合い助け合いの仕組みづくり など

(1) 快適な居住環境の創出

(2) 都市の活力と暮らしの安心の創造

を達成するために、左記以外に考えられるアイデア施策やアクションプランは？

■重要業績評価指標(KPI)案

- ・名鉄小牧線沿線居住率、公共交通機関の1日平均利用者数、児童館および子育て支援センター利用者数、健康寿命、在宅医療を受けている市民の数、市内の医療体制に満足している市民の割合など

論点： 出産・子育ての希望をかなえる「環境」とは？

■現状分析・課題整理

- ・女性の結婚・出産期にあたる既婚者の就業率が低く、未婚・既婚の差に開きが見られる
- ・希望する子どもの数と実際の子どもの数に開きがある
- ・子育て世代の多くが経済的な課題を抱えている
- ・低年齢児の保育ニーズが増大しており、待機児童が顕在化している

基本目標： 子育て世代の希望がかなう出産・育児環境の整備

ひと

■基本的方向(案)

- ・仕事と子育ての両立を支える子育て支援サービスの拡充を図ります。
- ・地域の中で安心して子どもを産み育てられる環境をつくります。
- ・低年齢児受け入れに対応できる環境を整備します。
- ・複雑化・多様化する保育ニーズに対応します。

■想定される具体的な施策(案)

(1)子育て世代のサポート環境の整備

- ①安心して子どもを産み育てられる環境づくり
- ②子育てと仕事の両立支援

(2)保育サービス・幼児教育の充実

- ①安全・安心な保育環境の整備
- ②多様な教育・保育ニーズに応える支援の推進

など

(1)子育て世代のサポート環境の整備

(2)保育サービス・幼児教育の充実

を達成するために、左記以外に考えられるアイデアやアクションプランは？

■重要業績評価指標(KPI)案

- ・保育園の待機児童数、合計特殊出生率、安心して子育てができるまちと思う市民の割合、ゆったりとした気持ちで育児できている保護者の割合 など

論点：時代のニーズに応える「しごと」とは？

■現状分析・課題整理

- ・人材の確保・育成といった企業ニーズに応える支援策の充実
- ・仕事と育児の両立が課題。職住近接の相関性あり
- ・市内に多く立地する中小規模の事業所数が減少傾向
- ・企業の海外展開などにより、産業の空洞化が進行

基本目標：持続して発展を続ける産業・経済の確立

■基本的方向(案)

- ・地域経済と雇用の安定を図るため、市内企業が安定して経営できるような環境を整えます。
- ・時代のニーズに対応した企業集積を図り、産業構造の厚みを確保します。
- ・地域資源を活かした高付加価値型の産業構造を確立します。
- ・小牧の産業を担い、支えていく人材育成を推進します。

しごと

■想定される具体的な施策(案)

(1)市内企業の操業支援

- ①工業都市小牧を支える市内企業の操業環境の改善
- ②企業の人材確保と様々な働き手の就労の支援

(2)企業誘致と産業集積の推進

- ①航空宇宙産業の集積強化
- ②恵まれた広域交通インフラを活かした企業誘致・工業用地の確保

(3)起業・新産業展開の支援

- ①新たな取組みへの企業チャレンジのサポート
- ②未来の小牧を支える人づくり

など

仕事と育児の両立の重要性が求められ、職住近接の相関性が見られました。目標達成のために考えられるアイデアやアクションプランは？

■重要業績評価指標(KPI)案

- ・従業者数、市内総生産額の県内順位、1事業所あたり製造品出荷額等の県内順位、就職者数、起業(創業)者数・・・など

論点：新たな「ひと」の流れをつくるには？

■現状分析・課題整理

- ・人口増加の逡減と、年少人口及び生産年齢人口の減少
- ・近隣市町の生活者における認知度が低い一方、小牧市民の満足度が高い小牧市の魅力がある
- ・小牧市内就労者(昼間流入者)の居住地と転入者の転入元との間に強い相関関係がある

基本目標：訪れたい、住みたい小牧の魅力発信

魅力
発信

■基本的方向(案)

- ・市民の市に対する愛着や誇りを高め、定住促進を図ります。
- ・小牧市の魅力を高め、近隣市町生活者の「訪れたい」、「住んでみたい」気持ちを高めます。
- ・地域の魅力を発信し、交流を拡大することで、地域の活性化を図ります。

■想定される具体的な施策(案)

(1)移住・定住の促進

- ①地域ブランド戦略による魅力発信
- ②こどもの夢を育み、夢へのチャレンジを応援する取組み
- ③小牧山の魅力向上
- ④移住・定住者に対する支援

(2)多様な人々が交流する場の創出

- ①地域資源を活用した観光振興
 - ②都市間交流の推進
- など

(1)移住・定住の促進

(2)多様な人々が交流する場の創出

を達成するために、左記以外に考えられるアイデア施策
やアクションプランは？

■重要業績評価指標(KPI)案

- ・転出入者数、市公式フェイスブックページの「いいね」数、交流人口、夢育み事業に参加したこどもの数、小牧市のシンボルが小牧山と思う市民の割合、これからも小牧市に住み続けたいと思う市民の割合、小牧市に「愛着・誇り」を感じる市民の割合・・・など